

のびのび乃木っ子

松江市立乃木小学校
特別支援教育だより
令和5年12月5日

師走に入り、冬の到来を感じられるようになってきました。今年もあとわずかとなり、時間が過ぎゆく速さを感じています。この時期になると、小学校では2学期の生活や学習のまとめを進めていくころになってきました。

12月8日から個人面談でお世話になります。学級担任とお子さんについて話し合う機会ですので、時間はわずかですがしっかりと話し合いができればと思っています。



学習や生活で困っている子どもたち

面談では学校生活や家庭生活の様子について話し合います。保護者さんの中には「学校で他の子どもと一緒に活動や学習ができているだろうか？」とか「家庭では親が言わないとなかなか勉強をしなくて困っている。」などお子さんのことについていろいろ心配に思っている方もいるでしょう。しかし発達途上にある子どものうちは、どの子にも課題があり、心配されることは当たり前だと思います。お子さんにとって、何が課題かを正確につかみ、適切な助言や支援をすることが大切です。そこで、まず子どもの課題が何かをつかむ「実態把握」が、大切になってきます。

乃木小学校では毎年6月と11月に「**学校における生活面や学習面で困難さを感じている子どもの実態調査**」を学級担任によって行っています。この調査で把握するのは

<学習面の困難さとして>

- 学級内で教師による一斉指示が伝わりにくい。聞き漏らしがある。
- 短い文など内容の乏しい話しかできない。
- たどたどしい読みや勝手読みをする。あるいは読めない。
- 学年相応の文章を理解することが難しい。
- 漢字の形がうまく捉えられない。覚えることが難しい。
- 数と計算で、学年相応の問題の意味が理解できない。
- (4年以上)学力検査で正答率が40%以下の教科がある。
- 授業中に落ち着きがなかったり、離席したりする。

<生活面の困難さとして>

- 細かなことまで注意を払うことが苦手で、よく間違ったりする。
- きまりや順番が守れないことがよく見られる。また待つことが難しい。
- 大きい集団が苦手で、学年や学校の活動には支援が必要である。あるいは孤立しやすい。
- 少しの刺激でイライラしやすく、情緒が不安定になりがち。
- 相手の思いが分かりにくい面があり、会話が一方的になりやすい。
- 急に変更になったり、普段と違う活動になったりすることに強い抵抗がある。

学校教職員みんなで支えています。

この実態把握調査をもとに、乃木小学校では関係教職員で構成する「**校内支援委員会**」を開催し、困難さを示す子ども一人ひとりにどのような支援をしたらよいかを検討しています。

支援の具体的な方法としては、

- ① **学級担任による個別の配慮や支援**
(教室内での座席の工夫、個別の声がけ、宿題の配慮など)
- ② 授業に **特別支援教育支援員** が入り、サポート形式で個別に支援をする方法
- ③ 授業から取り出し、**にこサポ(非常勤講師)** による個別の学習支援
- ④ 課題解決のための、別室での個別支援
(**まなびのコーディネーター**(吉野 T)による、まなびの部屋での個別支援)
- ⑤ **通級指導教室**の利用 … 障がいの特性改善のための自立活動という個別指導
(中央小学校の通級指導担当者が、週1時間程度指導します。)
- ⑥ **なかよし学級の部分的な利用**による、児童に合わせた個別カリキュラムを組んでの支援
- ⑦ **なかよし学級に在籍しながら、通常の学級の学習に参加する方法**
子どもの実態、課題に応じて「**指導計画**」を作成し、より細かな配慮や支援を行います。

校内支援委員会で検討し、それぞれの子どもに応じた支援をしていきますが、

- ③ にこサポ
- ④ まなびの部屋
- ⑤ 通級指導教室
- ⑥ なかよし学級の部分的利用

③から⑥までは、より丁寧に保護者さんと話し合いを重ねて支援を決定します。

については、お子さんの課題について、保護者さんと十分に話し合ったうえで、その支援を実施していきます。今回の個人面談でも、③にこサポ以降の支援が必要と考えられる場合は、学級担任からその話がありますので、支援についてご検討ください。

毎年実態把握調査を実施していますが、特に低学年での文字の読み書きや行動面に困難さがある子どもたちは、その後中学年や高学年になってからも、学習面や生活面に課題が残る、あるいはより課題が深刻になる場合があります。

したがって、低学年のうちに児童の実態に応じて適切な支援をする必要があります。また中学校では、基本的には小学校のような個別支援の体制は組まれませんので、子どもの年齢が上がるにつれて、子ども自身が課題を把握し、自分から支援を求めながら力を発揮できるようになっていく必要があります。

(文責 内田)